

市内景気動向調査結果

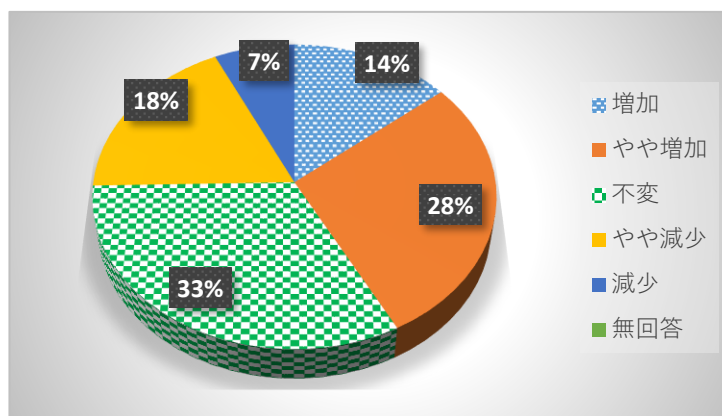
この調査は、第4四半期（令和6年1月から3月）と前年同期間（3ヶ月）の比較を、当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	不動産業
71	25	10	2	15	17	2

※回答数が少なかった運輸業、不動産業は、その他として集計。

1. 売上高はどう変化したか。

増加	10
やや増加	20
不変	23
やや減少	13
減少	5
無回答	0
合計	71

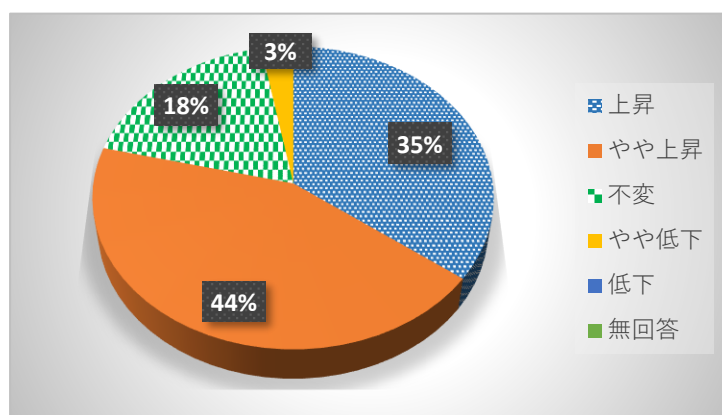


【コメント】

- 増加・やや増加が42.3%、不変が32.4%、やや減少・減少が25.3%であった。前年同期では、増加・やや増加が42.6%、不変が20.5%、やや減少・減少が36.9%であった。
- 増加・やや増加の業種別割合は、製造業が50.0%、サービス業が47.1%、卸小売業が46.7%、建設業が28.0%であった。（回答数が少ない運輸業、不動産業を除く）
- やや減少・減少の業種別割合は、卸小売業が33.3%、建設業が28.0%、サービス業が23.5%、製造業が10.0%であった。（回答数が少ない運輸業、不動産業を除く）
- 前年同期では、やや減少・減少の事業別割合は、卸小売業が50.0%、製造業が40.0%、建設業が41.7%、サービス業が31.0%、その他が30.0%、運輸業が16.7%であったので、悪化傾向は改善している。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	25
やや上昇	31
不変	13
やや低下	2
低下	0
無回答	0
合計	71



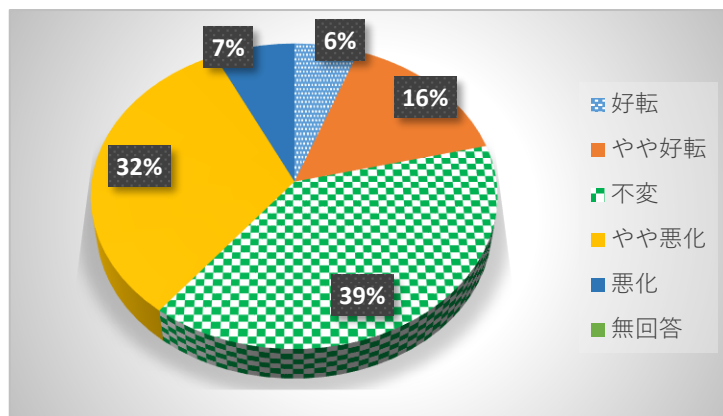
【コメント】

- 上昇・やや上昇が78.9%、不変が18.3%、やや低下・低下が2.8%であった。前年同期では、上昇・やや上昇が87.7%、不変が11.5%、やや低下・低下が0.8%であった。

- 上昇・やや上昇の業種別割合は、卸小売業が86.7%、建設業が84.0%、製造業が70.0%、サービス業が64.7%であった。（回答数が少ない運輸業、不動産業を除く）
- 若干の改善は見られるが、依然として仕入単価の上昇は続いている。

3. 採算について

好転	4
やや好転	11
不変	28
やや悪化	23
悪化	5
無回答	0
合計	71

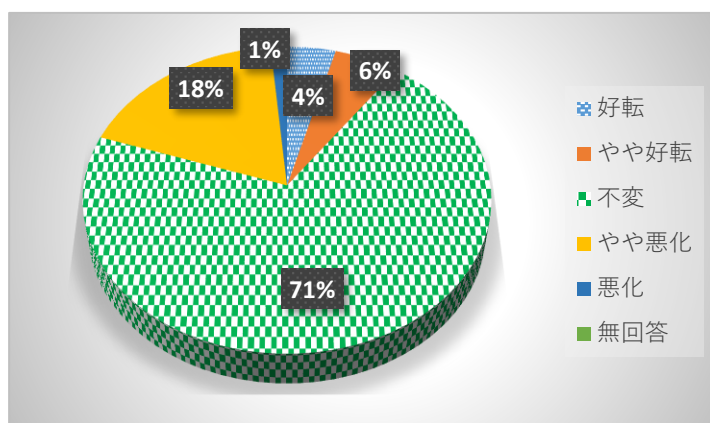


【コメント】

- 好転・やや好転が21.2%、不変が39.4%、やや悪化・悪化が39.4%であった。前年同期の好転・やや好転が21.3%、不変が39.4%、やや悪化・悪化が38.5%であった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、建設業が44.0%、サービス業が41.2%、卸小売業が40.0%、製造業が30.0%であった。
- 前年同期のやや悪化・悪化の業種別割合は、卸小売業が45.0%、サービス業が41.4%、製造業が40.0%、運輸業が33.3%、建設業が28.9%、その他が20.0%であったので、建設業の悪化が目立っている。

4. 資金繰りについて

好転	3
やや好転	4
不変	50
やや悪化	13
悪化	1
無回答	0
合計	71

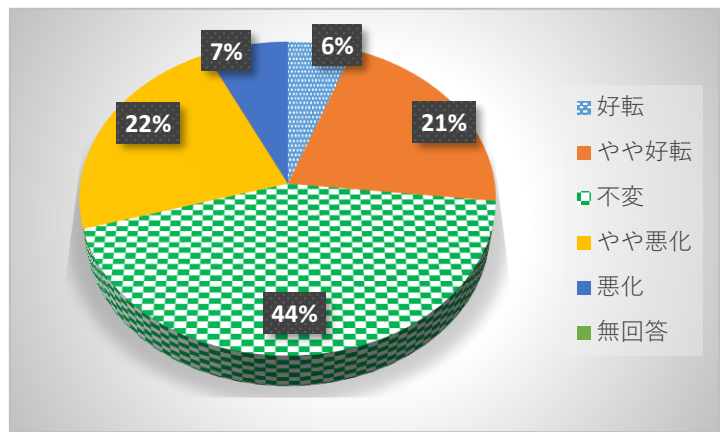


【コメント】

- 好転・やや好転は9.9%、不変が70.4%、やや悪化・悪化が19.7%であった。前年同期の好転・やや好転が18.9%、不変が63.1%、やや悪化・悪化が17.2%であった。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、サービス業が35.3%、卸小売業が26.7%であった。
- 資金繰りについては、前年同期と比べて好転・やや好転が半減する状況で、厳しい状況が続いている。

5. 業況について

好転	4
やや好転	15
不変	31
やや悪化	16
悪化	5
無回答	0
合計	71

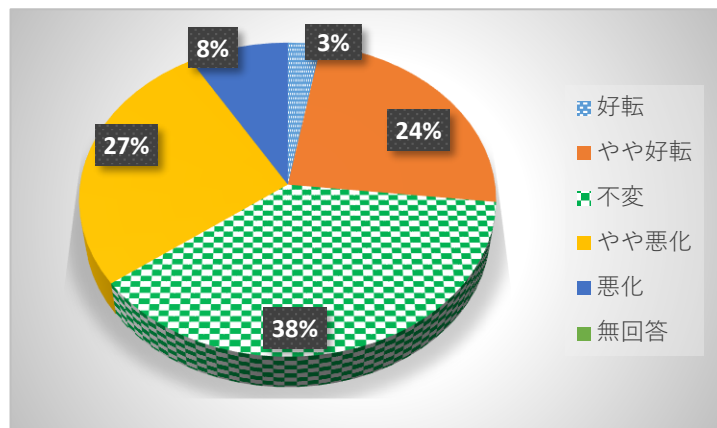


【コメント】

- 好転・やや好転は26.8%、不変が43.7%、やや悪化・悪化が29.5%であった。前年同期は、好転・やや好転が28.7%、不変が44.3%、やや悪化・悪化が25.4%であった。
- 業況悪化の割合が高い業種では、卸小売業が40.0%、建設業が32.0%、サービス業が29.4%、製造業が20.0%であった。
- 業況については、前年同期とほぼ同様の状況となっている。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	2
やや好転	17
不変	27
やや悪化	19
悪化	6
無回答	0
合計	71



【コメント】

- 好転・やや好転が26.8%、不変が38.0%、やや悪化・悪化が35.2%で、前年同期では、好転・やや好転が40.2%、不変が35.2%、やや悪化・悪化が23.8%であった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、製造業が60.0%、サービス業が41.1%、卸小売業が33.3%、建設業が24.0%であった。
- 季節的な影響がある建設業では、好転・やや好転が40.0%であったが、他の業種では悪化が目だっている。
- 今後3ヶ月間の業況予想では、やや悪化・悪化が前年同期に比べて減少したものの、好転・やや好転が大幅に減少し業況の減速感が強まっている。

■ 回答事業所からのコメント

【建設業】

- 原材料価格が高騰しているが、その分を価格転嫁できていないため業績が悪化している。
- 仕事量は増加しているが、資材および労賃の単価上昇と人材不足がどのように影響してくるかが不透明である。

- 原材料価格が高騰しているが、その分を価格転嫁できていないため業績が悪化している。
- 今年度始業したばかりのため、これから繁忙期に入ります。
- 国策事業の住宅省エネ2024キャンペーン実施による物件獲得が見込まれる。
- 急激な物価上昇などの影響により、消費者の購買意欲の低下が目立ち、売上にも影響を及ぼしている。
- 従業員の給料を上げたが、仕入単価が高騰しているため採算が合わない。
- 原材料価格が高騰しているが、その分を価格転嫁できていないため業績が悪化している。
- 期間中は完了物件数あり、売上は向上しましたが、資材、外注単価アップにより利益は減少しました。今後の仕事が少ない見込なので、民間にも力を注いでいく所存です。
- 原材料は高騰している（クレーン部材（修繕）、燃料費など。今期からは値上げ交渉などを行っている状況。ラピダス、新幹線工事等道内での工事が増えてきている。
- 競合他社減少により、受注が増加している。
- 人材不足により投資ができない。

【製造業】

- 仕入価格の上昇分を受けて取引先販売価格（協定価格）を交渉するも、度重なる仕入価格値上げ要求があり、販売価格への転嫁が追いつかず、業績にも悪影響となっている。
- 労働人口の減少による各業界の納期が長くなってきているので、生産性がさがっている。
- 更なる原材料費、エネルギー、光熱費の値上げがあり、製造原価に影響を与えている。各社交渉しているが価格転嫁は難しい。受託生産量は横ばい傾向で変化見受けられず。
- 建設関連が良くないと情報あり。賃上げも追いついていない。投資意欲が低下しているが、元気の良い会社もあるのが事実。
- 例年どおりの推移とみている。
- インバウンドによる購入の増加が考えられる。
- インフルエンザやコロナウイルス感染者は増加傾向にあるが売上への影響はあまり見られない。冬は暖房や除雪等の経費が発生するので悪化する可能性があります。

【運輸業】

- 2024年問題への対応で、乗務員確保が重要課題であり、人件費が増えることが見込まれるため。
- 売上単価の見直しを行ったため。

【卸小売業】

- 新型コロナウイルスの流行が収まり、インフルエンザはまだ流行しているが、全体として除菌水は需要が低下しています。今後も厳しい状況が続きます。イベントについては、新型コロナウイルスの流行が収まり、お祭りや催事が増え、グッズ、ゲームの売上は増えています。今後も期待できるのでイベント参加を増やす予定です。
- 融資がないなりに、資本金の中で安定してやりくりできました。融資を受けられれば、より売上を立てられる見込がついている。
- 仕入単価の上昇分を売価に転嫁できているため、その分売上高の増加につながっている。
- 修理作業が増え、粗利が増加傾向。
- 売上高の増加については、雪の影響で増加しただけなので景気とは関係ありません。お客様には毎年値上げをお願いしておりますが、各種経費の高騰分が精一杯で、実質業績が悪化しているのと同じです。

- 納入時期（本工事の関係）が遅れて予定どおりに売上が計上できなかった。年度をまたいで今工事をしているので、今後3か月間はやや好転するのではと考えています。
- 布の仕入価格と条件が変更となり仕入を断念せざるを得ない。他の物で利益を得なければならない状況。非常に厳しいです。

【サービス業】

- 原材料、部品、燃料等の高騰。取引先からの受注減少
- 売上は大幅に増加した。仕入単価は上昇。売上が大幅に増加したため採算性は好転した。
- 求人募集しても採用に至らない（問合せ数件あり）。運送・建設業の2024年問題（40h/週）で土曜日の稼働が減少しつつある（北広島初開催4月以降が顕著だろうが）。イベント等の復活により活況が予想される。
- 燃料費の高止まりや原材料の値上げ分が価格転嫁しきれていないため、業績が悪化した。
- 営業部門による収益性に重点を置いた継続的な適正価格への見直し交渉を行っていることで、売上の底上げに繋がられている要因が大きい。しかしながら、物価高騰や燃料単価の変動等をはじめ、購入資材の値上げ、メンテナンス修繕工賃等の増加が継続しており、各月の収益性は予算比から微増程度で推移すると想定される。

【その他】

- 一つの目標である売上2億、利益1億、納税3500万円を今期達成できそうである。